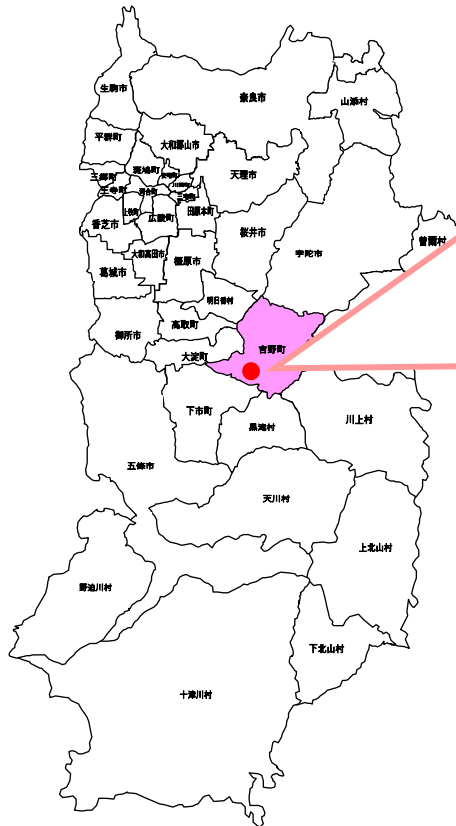


大和ハウス工業株式会社

活動場所: 奈良県吉野郡吉野町吉野山
活動内容: 桜の保全活動





Daiwa House
大和ハウスグループ



大和ハウスグループが一丸になって取り組む 吉野山桜保全活動



エコ・ファースト企業
環境大臣認定

 We Build ECO
Daiwa House Group

2024/1/29

大和ハウス工業株式会社
エンゲージメント推進部

Daiwa House

幅広い事業領域を活かして“社会課題解決”に貢献

人々の健康・暮らし
にかかわる事業

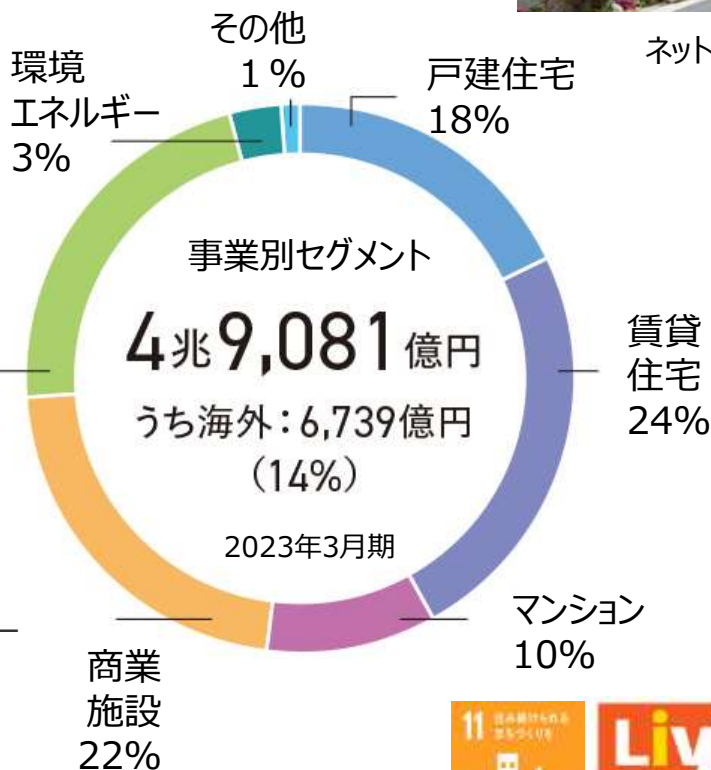


メガソーラー
などの省エネや
再エネ事業



再生可能エネルギー
100%の
大規模複合開発

防災拠点として地域に開かれた
物流施設



ネット・ゼロ・エネルギー・タウン (ZET)



家事をみんなでシェアする家
家事シェアハウス



既存資源の中から
価値ある住まいを提供



グループ創業100周年（2055年）を目指す“将来の夢”

生きる歓びを、 未来の景色に。

生きる歓びを分かち合える
世界の実現に向けて、
再生と循環の社会インフラと
生活文化を創造する。



信仰の桜

約1300年前、修験道の開祖・役行者（えんのぎょうじゃ）が山桜の木にご本尊である蔵王権現を刻んだことから、御神木として崇められ、祈りを込めて植えられてきた。

吉野山には、200種・約3万本の桜があるといわれ、そのほとんどが“シロヤマザクラ”という固有種です。赤い葉っぱをつけた後に花を咲かせます。

ヤマザクラは日本の野生の代表的な種で、観賞用として江戸時代に誕生した“ソメイヨシノ”とは異なり、寿命が長く大木になることで知られています。



<ヤマザクラ>

種から苗木を育てる野生品種。
1本1本DNAが違い、
樹木にも個性がある。



<ソメイヨシノ>

接ぎ木や挿し木で育てる栽培品種。
クローンのため、気象条件などが同じ場所
で一斉開花することから標本木として利用される。

2008年3月。一本の電話。

吉野山の桜の樹が、

元気がなくなってきたので何とかしたい。

このままでは、吉野山の桜がどんどん衰退していってしまう。

創業者が吉野出身である大和ハウスに、

ぜひ支援してもらえないだろうか。

昨今の環境の変化、樹勢の衰えなどにより危機的な状況を迎えている

(引用：公益財団法人吉野山保勝会)



ウメノキゴケ

(引用：近畿地方環境事務所)



その他にも要因が多数... ヤドリギ

このままでは桜が衰退する

1. 創業者とゆかりの深い地域を支えるという必然性。
2. 吉野は桜を御神木として大切に守り続けてきたため、単なる環境保全にとどまらず、日本が永きに渡って紡いでできた歴史・文化・伝統の継承としての意味深さ。
3. 桜の苗木を種から育てて山に還していくという活動そのものがサステナビリティ（持続可能性）を含んでいること。



**公益財団法人 吉野山保勝会の主旨に賛同し、
団体の支援や、協働活動をスタート。**

公益財団法人 吉野山保勝会と協働で吉野山に桜育成園を設置。
古来から吉野で受け継がれてきたシロヤマザクラを、山中の母種から得られる種を使い育成しています。
1年のサイクルを通じて、一つひとつの作業が桜の育成にむすびついていることを学び、元気に育つように、
1本1本丁寧に育てています。

2月 種まき・植栽

春に芽が出ることを願いながら、6月に拾ったさくらんぼを育成園の苗床に蒔きます。また、生長した若い苗木を吉野山に還します。



5月 桜育成園の整備・土壌改善作業

冬に蒔いた種の発芽を確認し、雑草等を除去して生長する環境を整えます。また、専門家の指導のもと花見塚の土壌改善を行います。



12月 苗木の植え替え・土壌改善作業

発芽して1～2年経った苗木をさらに大きく生長させるために、新しい苗床に移します。また、専門家の指導のもと花見塚の土壌改善を行います。



7・9月 土壌改善作業・下草刈り 桜育成園の干草用の草集め

冬に苗床を保温するための干草を作るために、太閤花見塚や花山で草刈りを行います。



(2023年3月末現在)

【実績】

2010年～2022年度（累計）

実施回数：72回

参加人数：延べ1,444名

6月 さくらんぼ拾い

シロヤマザクラの母樹からさくらんぼ（種）を拾います。洗って果実を取り、2月の種まきまで、乾燥させないように保管します。



グループ社員や、そのご家族・OBもボランティアとして活動に参加

※会社でボランティア休暇制度を設け、社会貢献活動を推進する仕組みを用意

活動での縁をきっかけに一緒に趣味を楽しんだり、新しいコミュニティが生まれて広がっている。

活動に参加した従業員の声

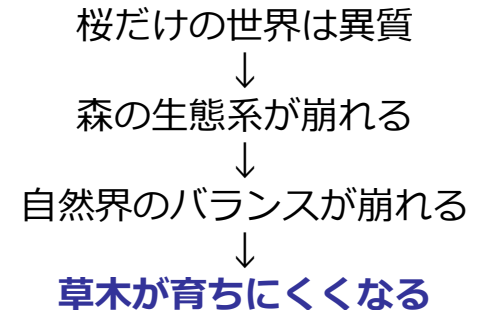


去年の春に行われた桜の募金活動に初めて参加し、その時に「保全活動、楽しいよ～」とお誘いを受けました。それで今年の第1回目の活動に参加したら、本当に、純粹に楽しかったんです。土壌改良の活動の際には会社で「何やってきたの？」と聞かれて、「モグラの穴を探していました」って答えたり（笑）。普段知ることのない知識が身に付き、生きていく上でも役立つ！と思っています。

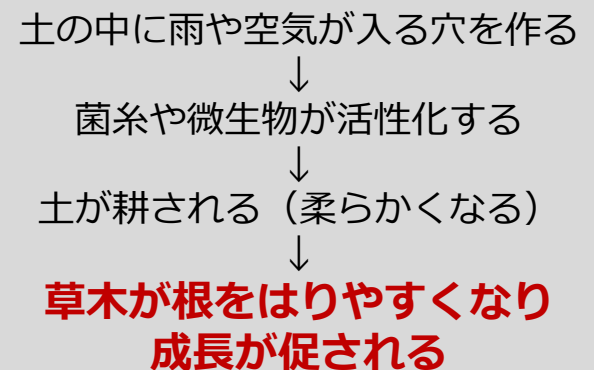


この活動に参加するようになって、桜に対する愛おしさが増してきました。吉野の桜が危機的な状況にあることを知ってからこの活動に参加し始めて、少しでも役に立っていると思うと、とても充実した気持ちになります。若い方たちが、お父さんお母さんになって子どもと連れて参加して、これから先も活動が続いていて、吉野の山が桜でいっぱいになったところを見たときに、私の後輩や子どもたちがやっぱり続けてよかったなと思えるような活動になるのが楽しみです。

桜だけを生かすのではなく、
山そのものの健康を取り戻す。



「土」を活性化させる。



① 等高線に沿った地表の溝きりと溝に炭を散布

- 地形落差を作ることにより雨水が地表を削ることなく円滑に大地にしみ込んでいく。
- 多孔質構造の炭を散布することで、土中の菌類微生物の働きを活性化させて、有機物の代謝循環を促進する。

多孔質構造である炭は、様々な菌類微生物のすみかとなり、有機物の代謝循環を促進する効果が見込める。



掘った溝に
「炭」を散布



② 樹勢回復のために縦穴通気浸透孔を設置

- 硬化した土壌は酸欠状態となっているため、樹木の周囲に数か所縦穴を掘り、枝葉を詰め土中に空気を送り込む。
- 有機物の分解に伴いバランスよく土中の菌糸が増殖し、縦穴側面から土壌に侵入して土中の隙間を広げていく。

穴の中には炭や枝葉を詰める。
この縦穴周辺に樹の根が張り巡るようになる。



樹の周りに数か所、穴を掘る。
穴の深さは50~60cmほど

③ 草刈りの改善

改善前

根元から根こそぎ草を刈る
→雨が直接地表を叩いて通気孔を塞いでしまう

改善後

高い位置（伸びた部分だけ）で草を刈る
→根は細根となり、地表の通気浸透性が改善される。



④ 植樹の手法変更

自然に落ちた膨大な種は、すべてが健康に育ってゆくわけではなく、土中環境の良好な場所に落ちた幸運な種のみが次世代の大木となる。

「桜」だけでなく、クヌギやコナラなどの苗木と一緒に植える。

（1箇所に4～5本の苗木を植える）



「日差しの緩和効果」「苗木同士の競争効果」



- ・土が柔らかくなったのが、足の裏で感じることができる
- ・今迄に生息していなかった植物が見られるようになった など



<2016年8月>

- ・土壌は固く、地表が見えている状態
- ・夏場は太陽の照り返しで高湿度となり長時間その場に滞在するのは厳しい



<2018年9月>

■ ウメノキゴケの減少

みずみずしい樹皮の桜が多く
見受けられるようになった



桜が衰退すると付着しやすい



■ 樹勢の回復

他のエリアよりも幹が太く、成長が著しい



<2015年4月>



<2023年5月>

■ 太閤花見塚のベンチ・テーブルの交換 (2016年10月)



以前のベンチ等の状況



- ・ 野外卓 (2組)
 - ・ 半円形ベンチ (1組)
 - ・ ベンチ (2基)
 - ・ 縁台ベンチ (1基)
- を寄贈

■ 太閤花見塚への通路・階段の整備 (2017年6月)



以前の階段の状況



■ 東京国立博物館148周年記念式典 (2020年3月10日)



頂いた募金は全額公益財団法人吉野山保勝会へ寄付し、桜苗木育成園の保全・管理や健康な苗木育成による吉野山の桜復活のために有効活用しています。

大和ハウス工業の株主の皆さまとともに

2011年度より、大和ハウス工業の株主の皆さまからも株主優待制度による募金を実施。



コンサートに参加された皆さまとともに

当活動に賛同してくださるアーティストと共にコンサートを開催し、会場では募金活動を実施。



吉野山を訪れる皆さまとともに

毎春、吉野山保勝会と協力し、吉野山訪れる観光客へ、吉野の現状を伝えるとともに、桜保全のための募金活動を実施。



社員とともに

自動自販機の売り上げに応じて寄付。全国の事業所や工場に設置。



公益財団法人 吉野山保勝会と 当社役員による対談

吉野山保勝会の皆さまとの対話を経て、
「桜」と「大和ハウスグループ」に共通する人財育成や
組織風土の醸成について思考を深めました。



地元の方と 社員ボランティアスタッフによる 地域交流会

ボランティアが始まった頃からの
大和ハウスと吉野山保勝会の活動の歴史を
映像で振り返り、地域の方とボランティアの方で懇親。
活動で顔見知りでしたが、
この交流会で初めて会話した方も…



日本の「桜」から、世界の「桜」へ



花咲く5日間のために、360日努力を重ねる人たちがいる。

春以外で吉野に足を運んでみる

桜について調べてみる、考えてみる

友人と話してみる

活動に関わってみる

桜を守るための行動をいってみる



Daiwa House®

大和ハウスグループ

ありがとうございました。